

## 令和2年度 第1回福祉センター運営委員会会議録（要旨）

日時 令和2年10月29日 午後3時30分から午後5時15分

場所 やまなみ荘

出席者 委員：山崎智吉（会長）、望月典子、市川寿明、平田勝章、太田 謙、小山芳孝、平田正夫  
曾根原ふさ子、藤原久紀

村長：藤澤泰彦

事務局：松沢昌志（所長）、小坂部 元（支配人）、牛越 実（料理長）

### ◆あいさつ

【会長】 第1回目の福祉センター運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。久々の運営委員会でございますが、有意義なご協議をお願いしたいと思います。

【村長】 例年ですと6月頃に第1回目を開催し、年間3回から4回お願いしておりますが、今年は新型コロナウイルス感染症の関係で、今までにない状況の中で運営をしているところでございます。大変厳しい状況でありまして、今後どのようになるのか予断がたたない、見通しが立たない状況であります。今年度は相当一般会計から繰入をしないと帯を結べない状況でございまして、来年度はコロナ禍で税額は減収しますし、地方交付税も減額すると危惧をしております。そういう状況下でやまなみ荘が現体制のままでは、私は許されないと思っておりますので、運営委員の皆さんから忌憚のないご意見をいただきまして、来年度に向けてしっかりと体制をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

### ◆協議事項 進行：会長

#### （1）令和元年度の決算について

※所長が、令和元年度の運営状況（取組内容、会計状況、利用者数等）について資料により説明

問：令和元年度は2月、3月は新型コロナの影響があったかと思うが、平成30年度と比べると1千万円位収入が減っているが、どういう取り組みをされているのか。特に宴会が減っている原因は何か。

答：9月にやまなみ荘の浴槽からレジオネラ菌が検出され、10月には台風の影響、2月、3月は新型コロナウイルスの影響で集客できなかった。

問：食堂フェアは利用が少ないものもあるが、その辺りはどう考えているか。

答：新聞の記事に取上げてもらえるよう働きかけを行い、村内への配布チラシには必ず載せているが、企画により人気に差がある。

問：村内と村外の利用者は把握しているか。

答：食堂の利用で村内と村外を比べると村外が若干多い。入浴者・宿泊者・日帰り宴会では60%が村外者。定期入浴者は村外が半数おり、その点でも村外者の比率が多くなる要因。

問：近隣（池田町・安曇野市明科）からのお客はいるのか。

答：ほとんどは安曇野市明科・大町市八坂・松川村・池田町から。遠くから来る方もいるが、近隣が多い。

問：海鮮丼は土日以外の実施なのか。

答：今は毎日やっている。土日も開催して家族でも利用していただいている。

問：海鮮丼は事前に準備している数はどの位あるのか。

答：予約分と20食分を準備している。連絡いただければ数を用意している。以前は土日に宴会があり対応できなかったのが、今は宴会がないので土日も対応している。

## (2) 令和2年度の運営状況について

※所長が資料により説明

問：宿泊者数の推移で9月が伸びているのは何かやったのか。

答：G o T o トラベルの影響。関東方面からの来客が多かった。

問：フルコースの懐石料理を提供する高級な路線はどうか。

答：贅沢なプランも割引クーポンを使えば同じ負担で利用できることを説明して、予約の時に単価をアップするよう案内している。

問：マレットゴルフ、テニスをする人の食堂利用は。

答：食堂・入浴に繋がっている。時期になると個人で利用して食事する方もいる。

問：コロナ禍での影響はどこでも同じなので、これからは客単価を上げざるを得ないと思う。食堂単価は妥当だと思うが、宿泊と宴会の単価が低い。部屋をどう利用するのか。利用上限が減っているので、もっと高級路線で、G o T o キャンペーンなどのコロナ対策を利用するのがいいのではないか。

答：女性向けのプランや、部屋食でゆっくりするプランなどで単価を上げる作業をしないといけない。今の客層は年配者が多く単価アップは難しいので、今後の集客は観光地間の中継地点としての利用なども狙い、観光事業者へのセールスなどもしていきたい。新型コロナウイルスの影響で、目的が観光地からゆったりと過ごす傾向に移っているので、長期に使ってもらえるプランを考えていきたい。

問：紅葉の時期なので散策なども出来るし、池田町の大かえでなど宣伝しているので利用してみてもは。

答：自分達でも実際に散策して、生の声で紹介していきたいと思う。色々な田舎の魅力を伝えていけたらと思う。

問：おやきの販売の方法は。

答：フロントで保温気を使って販売している。食堂でおやきセットを食べて、おやきを買って帰る人もいる。

問：おやき目的で来る人は多いのか。

答：まだ、周知していないので少ない。いかに安定した商品として用意できるかが課題。今は食堂のおやきセットが広告と考えている。宣伝しても対応できないようでは評判が悪くなるので、技術を上げながら進めたい。昨日テレビでおやきが放映され、ありがたい反面怖い面もある。生産が間に合えばチラシ等での宣伝もしていくが、当面は様子を見ながら進めていく。

## (3) その他

建物調査委託の実施状況を報告

◆閉会